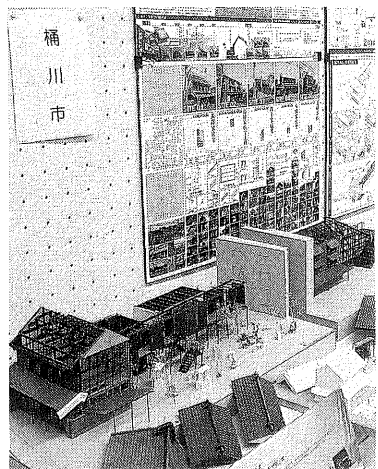


ある作品を募るもの。県内が舞台の26作品、地域を問わない14作品が審査対象となり、県知事賞に菅野大輝さんの「額縁から見る」建築の作品化による街道沿いの分散型展示廊」が選ばれた。神田会長は式の冒頭に



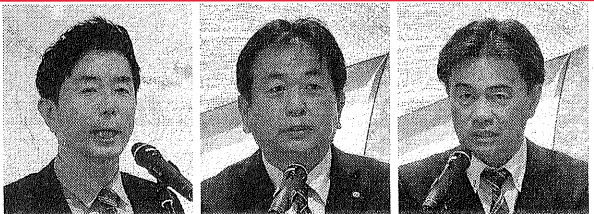
菅野さんの県知事賞

る複数の歴史的建築物を部分的に増改築し、建築物ごとの特徴を表現する「額縁」を設けて、各建築物を結び付けた分散型展示廊を整備することを提案した。地域を問わない「埼玉建築設計監理協会賞」は

### 全国道路標識・標示業埼玉県協会

## 第13回通常総会開催

### 要望や広報活動を積極展開



中村会長 吉澤部長 牧原議員

全国道路標識・標示業埼玉県協会(中村幸満会長)は19日、第13回通常総会を、さいたま市内のTHE MARK GRAND HOTELで開

き、本年度の事業計画を決めた。総会終了後には、牧原秀樹衆議院議員をはじめ多くの来賓や賛助会員も出席して、懇親会が開かれた。

続いて、来賓から多くの祝辞が贈られた。その中で、県土整備部の吉澤隆部長は、本年度の公共事業予算について説明。その中で、「県土整備部の交通安全施設整備費は11億9000万円を確保し、対前年度比で8%増加した」と報告。続けて「安全安心の道路環境づくりには道路標識や路面標示が重要な役割を担っている。われわれも道路利用者の視点で対策を進めていくので引き続き協力を」と呼び掛けた。承認された本年度の事

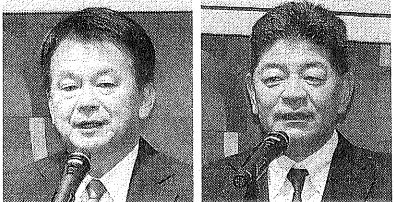
参加者を前に中村会長は、勉強会や講習会、意見交換会などを行った前年度の事業計画を報告。その中で「子どもを守るプロジェクトの一環で、埼玉県警察本部と合同で、ゾーン30の普及を目的とした啓発活動としてクリアファイルを1万



県警交通部長からの感謝状が披露された

### さいたま市建コン協

## 清水市長迎え新年度会

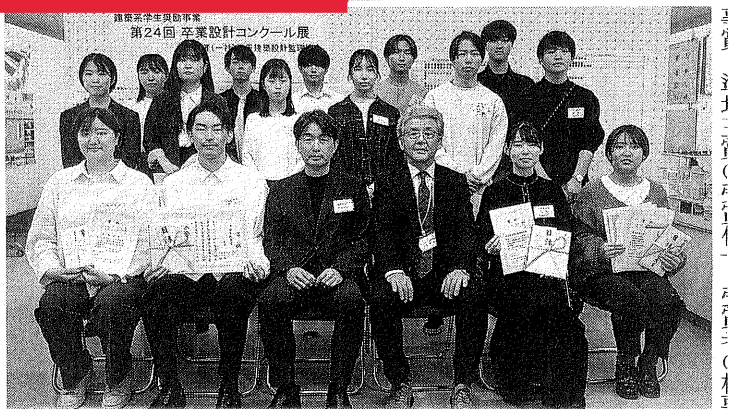


星野代表幹事 清水市長

星野代表幹事は「先ほど本年度の総会が滞りなく終了した。その中で、能登半島地震の被災者へ義援金を送ることを決めた」と報告した。

続けて来賓あいさつへ移り、最初に清水市長は「社会資本整備や良好なまちづくりに高度な知識と技術力でご尽力いただき感謝申し上げます」と述べた後、能登半島地震に触れ「災害の時にも耐えられるまちづくりをしていく必要がある」との認識を示し、さいたま市がこれからも多くの人から選ばれる街として進化し続けていくためのまちづくりに引き続き協力を求めた。

さいたま市建設コンサルタント協会(星野達代表幹事)は19日、本年度の新年度会を、さいたま市内のTHE MARK GRAND HOTELで開き、会員ら関係者多数が参加するとともに



第24回「卒業設計コンクール」

入間市は、「力販売契約」の施設の大陽光「産業文化」市民活動や「西武地区体

